

4 製造品出荷額等

- * 製造品出荷額等は7兆6283億円
- * 産業別では、「輸送用機械」が1兆5866億円（構成比20.8%）で最も多い
- * 地域別では、府中市が7862億円（構成比10.3%）で最も多い

(1) 産業別の状況

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が1兆5866億円（構成比20.8%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が7710億円（同10.1%）、「電気機械」が7448億円（同9.8%）となっている。

前回と比較すると、14産業が増加し、10産業が減少している。

前回と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「電子・デバイス」の577億円（17.0%）、次いで「鉄鋼業」の233億円（16.3%）、「業務用機械」の179億円（6.0%）となっている。

前回と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「輸送用機械」の2056億円（△11.5%）、次いで「電気機械」の585億円（△7.3%）、「化学工業」の147億円（△3.9%）となっている。

（図18、図19、付表1）

図18 産業中分類別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）

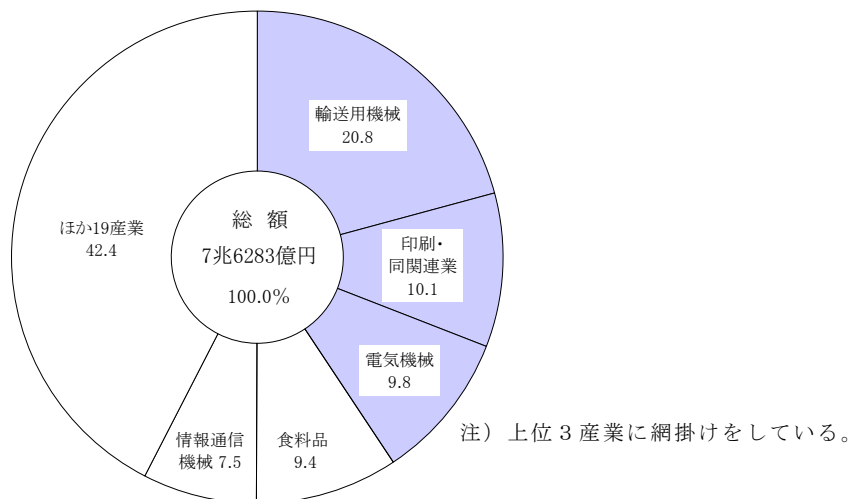
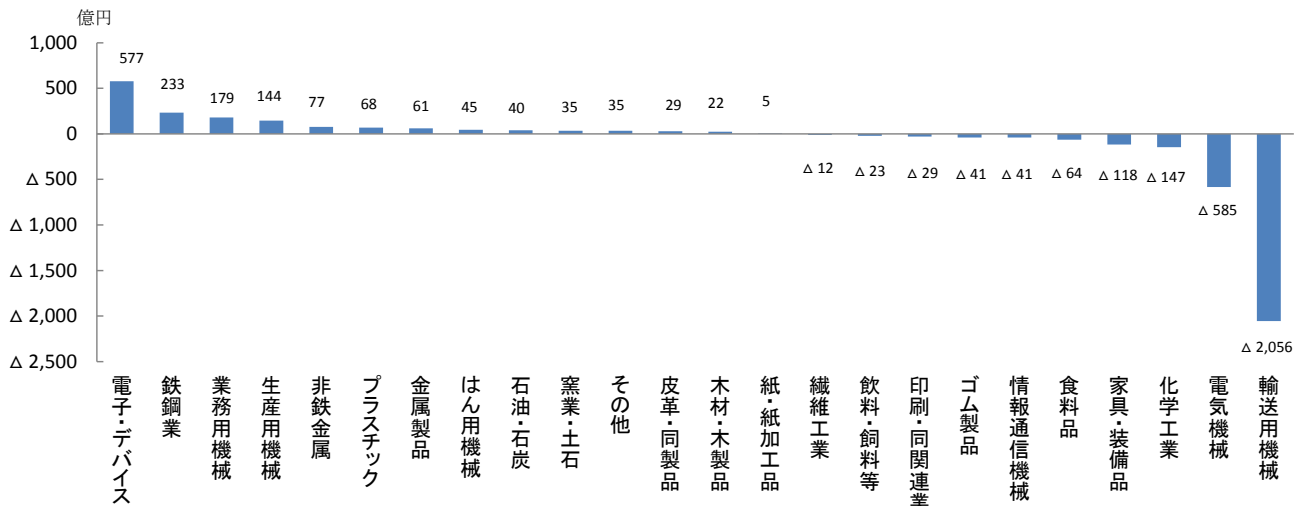


図19 産業中分類別製造品出荷額等対前回増減数（従業者4人以上）



(2) 従業者規模別の状況

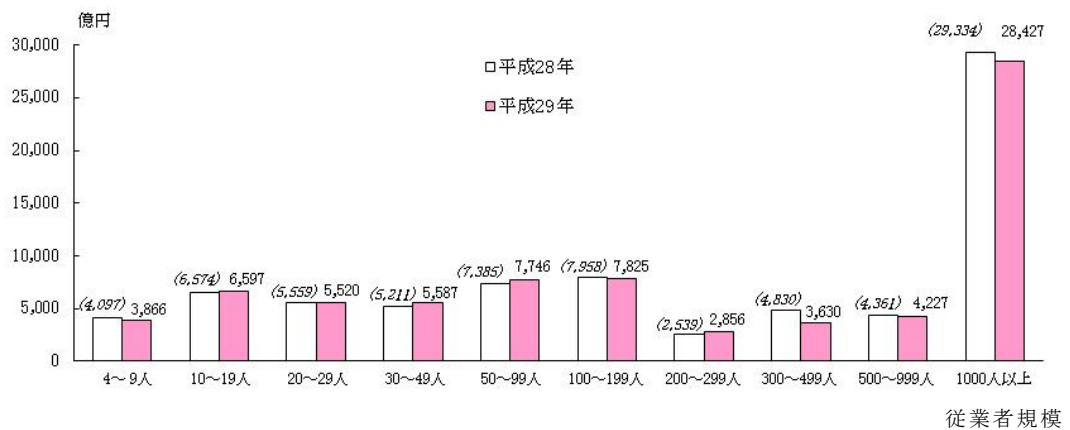
従業者規模別にみると、「1000人以上」が2兆8427億円（構成比37.3%）で最も多く、次いで「100～199人」が7825億円（同10.3%）、「50～99人」が7746億円（同10.2%）となっている。

前回と比較すると、4区分が増加し、6区分が減少している。

前回と比較して増加した区分のうち増加額が最も多いのは、「30～49人」の376億円（7.2%）、次いで「50～99人」の361億円（4.9%）、「200～299人」の317億円（12.5%）となっている。

前回と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「300～499人」の1200億円（△24.8%）、次いで「1000人以上」の907億円（△3.1%）、「4～9人」の231億円（△5.6%）となっている。（図20、付表2）

図20 従業者規模別製造品出荷額等（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

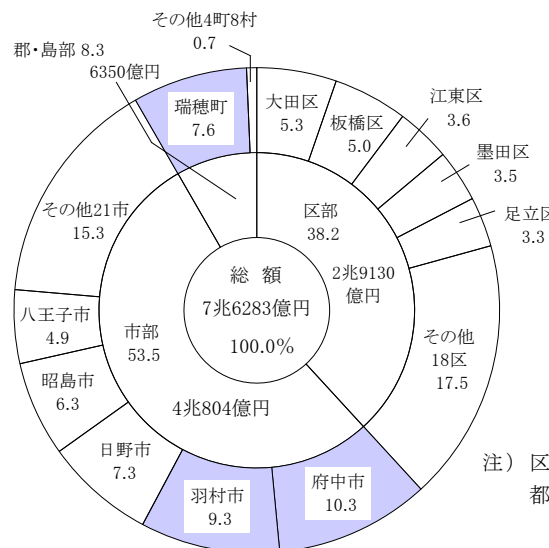
地域別にみると、区部が2兆9130億円（構成比38.2%）、市部が4兆804億円（同53.5%）、郡部が6322億円（同8.3%）、島部が28億円（同0.0%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が4043億円（同5.3%）で最も多く、次いで板橋区が3783億円（同5.0%）、江東区が2777億円（同3.6%）となっている。

市部では、府中市が7862億円（同10.3%）で最も多く、次いで羽村市が7091億円（同9.3%）、日野市が5596億円（同7.3%）となっている。

郡部では、瑞穂町が5834億円（同7.6%）で最も多くなっている。（図21、付表3）

図21 区市町村別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）



注) 区部、市部の各上位5位及び郡・島部の1位を表記都内上位3位の区市町に網掛けをしている。